

わが街 Watching

どろまみれ みんな一緒に 大はしゃぎ!!

国際どろんこドッジボール大会



▲どろの中でのドッジボールを楽しむ参加者

6月14日、鎮西中学校近くの田んぼで「第7回国際どろんこドッジボール大会」が行われ、鎮西小中学校や東鷹高等学校の児童生徒、福岡県立大学生のほか、近隣自治体で活動する外国語指導助手（ALT）など約150人が参加しました。いつもは洋服を汚すと怒られてしまうこともある子どもたちも、保護者公認のこの日ばかりは一面どろだらけの田んぼに思い切りダイビング。頭のとっぺんから足の爪先までどろまみれになりながらも、ボールの行方を追いかけていました。初めてきょうだい3人で参加した小田彩奈さん（鎮西小1年）は「どろで汚れて気持ち悪かったけど、とても楽しかった。来年も参加したいです」と満面の笑顔で話しました。

来てみんな・かながわ～みなさんに愛されて～
新装オープン後の来店者が100万人を超える

5月13日、田川農業協同組合が運営する農産物直売所「来てみんな・かながわ」に、平成22年12月の改装以来100万人目となるお客さんが来店しました。「来てみんな・かながわ」は、平成9年度に朝市として始まり、平成11年度に常設の農産物直売所としてオープン。平成22年度に改装された現在の施設では、地元金川地区で育てられた金川牛やパプリカをはじめとする、田川地域内の農産物や加工品などを販売しています。この日、100万人目の来店者となった秋吉陽子さん（福津市）は「初めて来ました。100万人目に選ばれてうれしいです」と笑顔で話しました。

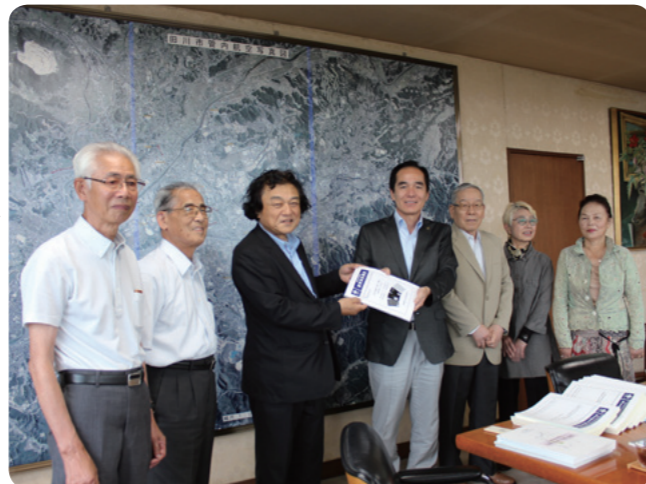


▲記念の花束を手に微笑む秋吉さん(左)と来てみんな・かながわの野中栄藏会長

作兵衛翁が残した、世界の記憶を読み解く

山本作兵衛さんを<読む>会が資料集を寄贈

6月17日、「山本作兵衛さんを<読む>会」の野村喜七郎会長などが市役所を訪れ、新たに刊行した山本作兵衛翁の日記類の解説資料集「山本作兵衛一日記・手帳―」第14巻を、第1～13巻とあわせて二場公人市長に寄贈しました。平成14年3月に作兵衛翁の旧宅から発見された日記類（福岡県立大学保管）を読み解き「炭坑の歴史を後世に伝えよう」と同年4月に発足した同会では、これまでほぼ1年に1巻の周期で解説資料集を刊行しています。野村会長は「資料集を読み、炭坑記録画を鑑賞しながら、当時の炭坑の生活を子どもたちにも知ってほしい。さまざまな場面で活用してください」と話しました。



▲寄贈された資料集を手にする二場市長(中央)



▲手づくりののぼり旗を手渡す西田川高校の生徒たち

地元の商店街を元気に!!

西田川高校生徒がのぼり旗で応援

6月5日、西田川高等学校2年生生徒が、同校の通学路でもある後藤寺商店街など、日頃お世話になっている地域に感謝の気持ちを込めて製作した、キャッチコピーやイラストなどを手書きしたのぼり旗約70本を店主などに手渡しました。この取り組みは、この日行われた同校文化祭の一環として企画され、昨年に続き2回目。生徒たちは、約1週間前から担当する店舗の店主などと意見を交わしながら内容や図案などを検討し、各店舗オリジナルののぼり旗を製作しました。婦人服などを販売する店舗の旗をつくった楠野嶺侑さんは「デザインなど難しかったが、お店の人に喜んでもらえてうれしい」と話しました。

キッチンからはじまる家族の絆

ゆめっせフェスタ 2015



▲「食事をする時こそ相手のことがよくわかる」と話すコウケンテツさん

6月20日、田川青少年文化ホールで「ゆめっせフェスタ2015」が行われ、約370人が参加しました。この取り組みは、性別にかかわらず誰もが個性や能力を十分に発揮することのできる「男女共同参画社会」の実現に向けて啓発することを目的に行われているもので、今回で23回目の開催。この日講師を務めた、料理研究家で一男一女の父でもあるコウケンテツさんが、親子の食育や男性の家事・育児参加、食を通じた家族のコミュニケーションなどを、ユーモアを交えた軽快なトークで解説しました。参加した城本一貴さん（伊田）は「今まであまり家事などしていなかったが今後はやっていこうと思う」と話しました。

梅雨時期に備えて技術を研さん

田川市郡消防団などが合同で水防訓練

6月7日、大任町水辺公園で「水防訓練」が行われ、河川などの増水時に堤防の漏水を防ぐための「シート張り工法」の訓練に、本市消防団鎮西地区隊のほか、田川地区町村の7消防団と田川地区消防署、田川地区防災対策協議会の10チーム80人が出場しました。「シート張り工法」は、防水シートに竹を結び付け、風で飛ばないように土のうを重りにしてシートを広げる水防工法技術で、出場者は、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。訓練終了後、福岡県消防協会の大澤俊朗会長（田川市消防団長）は「みなさんの真剣に取り組む姿から、防災に対する気迫を感じた」と出場者をねぎらいました。



▲集中して訓練に臨む本市消防団鎮西地区隊のみなさん